

平成30年度 第1回SJAC講演会を開催

(一社)日本航空宇宙工業会は、4月18日(水)、CFR-Hitachi Fellow (米国外交問題評議会 日立フェロー) Michael Hsieh氏を講師にお招きし、米国防省 国防高等先進研究計画局 DARPA (Defense Advanced Research Projects Agency、以下「DARPA」)の研究開発に関する講演会をグランドヒル市ヶ谷にて開催しました。

DARPAは、米軍装備品に適用される新技術の研究開発を行う機関として約60年前に米国防省により設立され、設立後はインターネット、GPS (Global Positioning System) 等、世界に先駆けた先進技術の研究開発で成果を挙げており、現在も世界の先進技術をリードする研究開発機関です。一方、平成26年には「防衛装備移転3原則」が日本政府から公表され、我が国との間で安全保障面での協力関係がある諸国との国際共同開発・生産する場合の条件等が明記されたことから、防衛関連企

業は各国との国際共同開発・生産の機会を模索しております。本講演会は、これらの状況を踏まえ、昨年3月までDARPAでプロジェクトマネージャを務めた講師から、DARPA設立の目的、今後の先進技術動向等について直接説明を受け、会員企業の皆様に情報収集と質疑応答の機会を提供したものです。

当日は、会員企業から約90名が出席し、DARPAにおけるプロジェクトマネージャの役割、知的財産の管理、DARPAで関心を寄せている技術など、多くの質問が出席者から出され、会員企業の皆様の関心の高さが窺えました。講演会当日の演題及び講演者は以下のとおりです。

- ・ 演題：Innovating at the Speed of Society
：Prospects for Japan's Own DARPA
- ・ 講師：Dr. Michael Hsieh CFR-Hitachi Fellow,
Council on Foreign Relations



講師 マイケル シェ氏



会場の状況

〔(一社)日本航空宇宙工業会 業務部長 杉原 康二〕